学部生の授業料免除申請（大学独自制度）に係る調書（２０２５年度）
【前後半期一括／前半期分】

以下について、申請者本人が記入し、申告してください。

<table>
<tr><td colspan="2">① 申 請 理 由</td><td>

激甚災害に被災し、

☐ **（ア）** 既に、**新制度の給付奨学生に採用済み**で、なおかつ、支援区分が「第Ⅰ区分／満額支援」以外（「停止中」を含む。）であるため。

☐ **（イ）** JASSO進学資金シミュレーター【2025年度 春の在学採用】によるシミュレーション結果が**「第Ⅰ区分／満額支援」以外**であったため。

☐ **（ウ）** **資産基準の超過**により、新制度による支援の対象外となるため。

【資産基準】
・多子世帯ではない場合：生計維持者の数に関わらず、資産額の合計が5,000 万円未満であること。
・多子世帯の場合：生計維持者の数に関わらず、資産額の合計が3億円未満であること。
※多子世帯とは、扶養する子どもが3人以上いる世帯のことを指します。
※資産とは、現金やこれに準ずるもの（投資用資産として保有する金・銀等、預貯金、有価証券の合計額を指します。土地等の不動産は含みません。）をいいます。

☐ **（エ）** 本学への入学が**高校卒業後３年を経過している**ことより、新制度による支援の対象外となるため。

</td></tr>
<tr><td rowspan="2">（イ）をチェックした申請者のみ</td><td>②新制度【2025年度春の在学採用】シミュレーション（保護者の方向け）の結果</td><td>☐ 第II区分（2/3支援）　☐ 第III区分（1/3支援）　☐ 第IV区分（1/4支援）　☐ 支援なし</td></tr>
<tr><td>③ 新制度【2025年度春の在学採用】の手続状況</td><td>☐ **手続き済み**
担当課における受付担当者名の記入と押印を受けてください。　確認印
☐**未手続**　未手続の理由：　☐収入基準超過　☐その他理由（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="2">④ 留年の有無
（有の場合は、その理由）</td><td>☐ **無**
☐ **有**　（理由（留学、病気で休等）：　　）</td></tr>
</table>

上記のとおり、申告します。
なお、私が高等教育の修学支援制度（新制度）に第Ⅰ区分（満額支援）により採用された場合（又はJASSOによる支援区分の見直しにより、支援区分が第Ⅰ区分（満額支援）に変更された場合）であって、なおかつ、その支援の期間が2025年度前半期（4月～9月）若しくは後半期（10月～3月）のいずれか又は両方の全期間と重複する場合は、私は重複する当該期における授業料免除（大学独自制度）の申請を取り下げることを、併せて申し立てます。

※※ ①申請理由において、(ア)をチェックした方は、JASSOスカラネット・パーソナルの給付奨学金の詳細情報ページを印刷して添付してください。
※※ ①申請理由において、(イ)をチェックした方は、新制度【2025年度春の在学採用】シミュレーション（保護者の方向け）の結果を添付してください。

＿＿＿＿年　＿＿＿月　＿＿＿日

申　請　者

学 生 番 号　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学年（履修年次）＿＿＿＿＿　年次（編入の有無：有　・　無）

氏名（自署）　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【高等教育の修学支援制度（新制度）の導入に伴う授業料免除（大学独自制度）申請対象者】

激甚災害により被災した学部学生（入学年度不問）のうち、新制度の支援対象外となるか又は新制度に要る支援区分が第Ⅰ区分（満額支援）以外となる学生

※ 新制度の支援要件を満たす方が、新制度への申請を行わない場合は、授業料免除（大学独自制度）の選考の対象外になります。必ず、新制度への申請手続きを行ってください。

※ 新制度において満額の支援を受けている方や、JASSO進学資金シミュレーターによるシミュレーションの結果が第Ⅰ区分（満額支援）となる方は、授業料免除（大学独自制度）に申請することができません。